

## C 言語プログラムの実際の手順

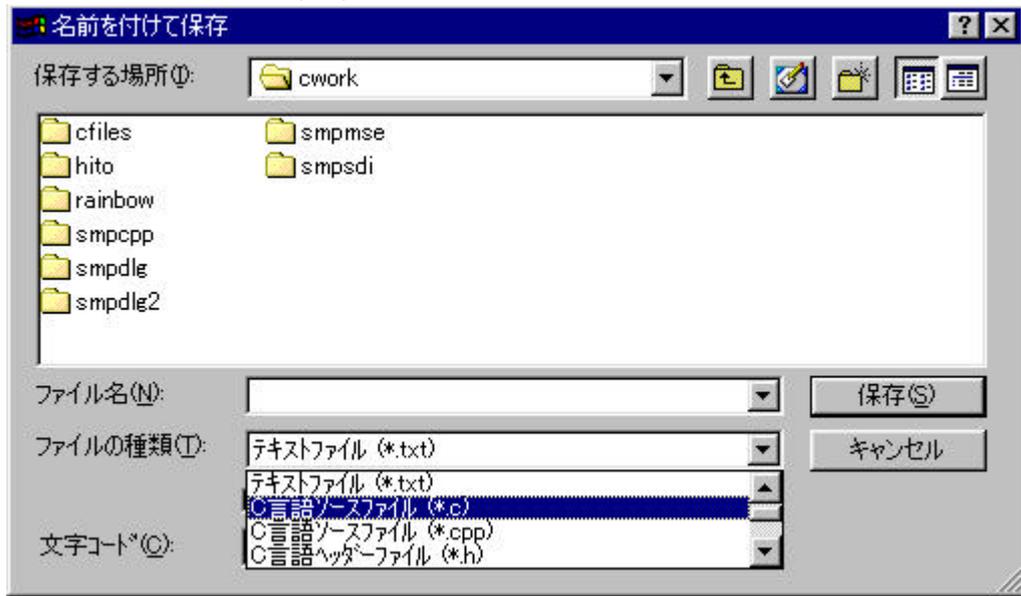
まずは、エディタを起動する。ここでは、秀丸エディタを用いるがエディタであれば何でもよい。右のようなアイコンがあるはずなので、ダブルクリックして起動する。



C 言語の文法に従ってソースプログラムを作成する。

```
C:\work\cfiles\mycpy.c - 秀丸
ファイル(F) 編集(E) 検索(S) ウィンドウ(W) マクロ(M) その他(O) 7:1
[Icons]
/* **** */
/* サンプルプログラム */
/* ファイルの内容を別のファイルにコピー */
/* ファイル名をコマンドライン入力 */
/* File: mycpy.c */
/* Date: 000915 */
/* Auth: Takeshita */
/* **** */
↓
#include <stdio.h>↓
#include <stdlib.h> /* exitのプロトタイプ */
↓
main(int argc, char *argv[])↓
{↓
    FILE *fin, *fout;↓
    char s[256];↓
    ↓
    if(argc != 3) {↓
        printf("引数の数が違います\n");↓
        exit(1);↓
    }↓
    ↓
    if((fin=fopen(argv[1], "r"))==NULL) {↓
        printf("入力ファイルがオープンできません.\n");↓
    }↓
}
```

ある程度できたらフォルダ cwork のなかに保存する。このときファイルの種類を” C言語ソースファイル(\*.c)にする。



次に、右下の「スタート」からたどって「MS-DOS プロンプト」を起動させる。

MS-DOS 上で

`cd %cwork`

と打ち込み、カレントディレクトリを変更する。

次に

`vcvars32`

と打ち込むと、

「Setting environment for using Microsoft Visual C++ tools」と表示される。

これで、Cコンパイラの準備が整ったことになる。

コンパイルを実行するには、例えば

`cl smp.c`

と打ち込むとコンパイラとリンカが実行され、smp.exe ファイルが作成される。

あとは、この smp.exe を実行すればよい。



The image shows a screenshot of an MS-DOS command prompt window. The title bar reads "MS-DOS プロンプト". The window contains the following text:

```
Microsoft(R) Windows 98
(C)Copyright Microsoft Corp 1981-1998.

C:¥WINDOWS>cd ¥cwork

C:¥cwork>vcvars32
Setting environment for using Microsoft Visual C++ tools.
C:¥cwork>cl smp.c
Microsoft (R) 32-bit C/C++ Optimizing Compiler Version 12.00.8168 for 80x86
Copyright (C) Microsoft Corp 1984-1998. All rights reserved.

smp.c
Microsoft (R) Incremental Linker Version 6.00.8168
Copyright (C) Microsoft Corp 1992-1998. All rights reserved.

/out:smp.exe
smp.obj

C:¥cwork>_
```